



「安保解消」は トランプ流アドバルーン?

大阪でG20が開かれた。そのために大阪は厳戒態勢。学校も休み、道路も封鎖。まるで安倍改憲案にある非常事態法の先取りの戒厳令みたいというのはオーバー? 会議に合わせたかのようにトランプ米大統領が「日米安保は不平等だ」と宣伝をはじめた。

6月26日にはFOXのテレビで、「日本が攻撃された時、アメリカは第3次世界大戦を戦い、猛烈な犠牲を払うことになるが、アメリカが攻撃されて救援が必要なとき、日本はソニーのテレビで見物するだけだ」と発言。

大統領に当選した当時、彼は「日本は駐留米軍の経費を100%払うべきだ。そうしないならアメリカ軍は撤退する。その代わりに核武装を許してやろう。」などと公言したことが話題になった。

国民にとっては安保条約破棄は望むところ、屈辱的な地位協定の改定より日米安保条約廃棄の方が簡単だ。条約の10条にある通り、日米どちらかが廃棄を通告すればいいだけの話だからという意見も多い。

もちろん廃棄通告をしたからと言って敵対するということではない。フィリピンなどは通告して米軍基地を取り戻した。しかし通告するのは政府だ。

今回もアメリカの意図が不明だ。例によって気紛れなのか、日米交渉を有利にするためのジャブかもしれないが、イスラエルを全面支援しているように、あとは野となれの危険性を持つ大統領だ。ビジネス的な論理で割り切るなら、ない話ではないかもしれない。

事実を踏まえない話は困る。「アメリカが日本を守っているのに、日本はアメリカを守らない」との主張は政府や右翼が軍備増強を求めるのと同じだ。核兵器を許すから勝手に守れとまで言っている。ところが日本のミサイル装備も100億円をこす戦闘機F35を100数10機買うのも沖縄に基地を置くのもアメリカの戦略のため、アメリカに攻撃が届かないようにするためであって、日本を守るためではないことは米軍が明らかにしている。それにもかかわらず、米軍の膨大な駐留経費を日本が条約に反してまで負担しており、いままた無理に無理を重ねて沖縄に新基地を建設しようとしているのを彼が知らないはずはない。そのうえ米軍が日本を守るどころか日本人は基地があるためにこれまでも米兵によって多くの命を奪われている。

6.23 沖縄慰霊の日

安倍首相の挨拶に「うそつき」のヤジ

沖縄戦は太平洋戦争末期1945年3月26日に始まり、約3か月にわたって激しい戦闘となり、兵士含め約20数万人が命を落としました。県民の2割にも及ぶ10万の住民が犠牲となりました。沖縄県は1995年太平洋戦争・沖縄戦終結50周年記念事業の一環



として、「平和の礎」という碑を建設しました。そこには国籍を問わず、また、軍人、民間人の別なく、全ての戦没者の氏名を刻み、永久に残すことにしました。毎年ここで慰霊の日の式典が行われ、沖縄県ではこの日は休日となります。

玉城デニー知事は沖縄全戦没者追悼式でウチナーグチ（沖縄言葉）や英語を交えてあいさつし、辺野古新基地建設反対や日米地位協定の改定を訴えました。玉城知事の一言一言に会場からは拍手が沸き起こった。一方、安倍晋三首相はあいさつで沖縄の基地負担軽減や経済振興を推進する考えを強調したが、辺野古新基地建設に触れることはなかった。参列者から「帰れ」「ゆくさー（うそつき）」との声も上がり、知事あいさつへの受け止めとは温度差が際立った。（琉球新報の記事より）

他の参加者からも例年以上に首相あいさつへのヤジが激しかったと言われています。県民が挙げて新基地反対の総意を示しているにもかかわらずとの思いが。

イランとアメリカ

思い出す あの事件

トンキン湾事件やイラク戦争

トランプ大統領はオバマ前大統領が結んだイランとの核合意を一方的に破棄した。イラン側が反発するなか、イラン側の米無人機撃墜を非難。さらにタンカー爆破事件が起こり、アメリカはこれもイランの仕業と非難し爆撃準備。中止はしたがトランプ氏の異常な外交で何が起るか世界に不安が広がっている。かつてアメリカはトンキン湾事件をでっち上げ、ベトナムで北爆を開始して戦争を拡大したり、イラクでは「大量破壊兵器の保有」という偽情報で国連も巻き込んでフセイン攻撃を始めた前歴がある。都合の悪い情報はすべてフェイクニュースだと決めつける大統領。その使い走りを買って出てイランを訪問したりすることが日本の国益だろうか。

世話人

自己紹介

「今、ナンつった…」、あきれてものが言えなかった。家の近くの道路がこわれ危ないので市役所へ電話した。出た職員は「そういうことは自治会を通してください」という。40年も前のことだが、この街の自治会は道路維持の下請け・管理人だったのかと知らされショックだった。

この一件以来、市民とは、国民とは何かの探求を始めた。オリンピック招致で首相は「アンダーコントロール」と言った。F35爆買いは一瞬に約束された、米国で。

安倍政権が独走を始めるときは何か『やってる感』が溢れてて、つい国民は騙されてしまう。何かお忘れではありませんかと一言つぶやいてみよう。新聞テレビあるいは官邸への電話でもよい。耳ざわりの良い言葉には要注意だ。いつまでもボール箱磨きしてないでグラウンドへ出ませんかとアベ友萩生田は九条改憲を声高に唱えた。虚言妄言ウソの多い人であれば尚更のこと。

「自衛隊を明記しても何も変わりません」と聞いた私は即座に返した。「今、いま、たった今、なんて言ったの。頼むから虚言妄言で私たち国民を戦争へ持っていかないで。あなたの所有物では無いんだから。私のことは私が決めます。以上」

2019年7月3日 参院選公示前日

小山 俊（71歳 野々下在住）

突然米朝会談

またもや蚊帳の外 韓国とも対立激化

大阪でのG20を終えたと思ったら、なんと急きょ米朝会談をセットしたトランプ大統領。北朝鮮の金正恩委員長を持ち上げ、南北の軍事境界線38度線を往復して見せるパフォーマンス。

会談の結果はそれぞれの要求する「核放棄」「体制の保障」について特段の前進があったわけではないが相互の信頼関係を演出して見せた。

一方で安倍政権は慰安婦問題、徴用工問題で韓国と対立を深め、半導体の報復まで持ち出した。日本に最も近い国同士の対立、緊張がもし解消し、反日だけが共通の問題として残るなら、中国も併せて、日本は東海の小島の中に孤立する。などということになりませんか？

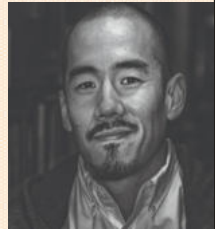
欧州にも広がりつつある一国主義を食い止めることこそ「平和を愛する諸国民との協和」（憲法前文）を掲げる日本の役割のはず。逆を向く安倍内閣の危険性ますますあきらか。

映画 「主戦場」

歴史を捻じ曲げるな

**慰安婦問題を検証ディベートする
劇映画ではない。記録映画でもない。面白くもない。
だが気の抜けない122分です。**

完成した映像を見てケント・ギルバート、藤岡信勝両氏など右翼側5名からこんなはずではなかったと訴えられています、上映中です。



<以下チラシより>

あなたが「ネウヨ」でもない限り、彼らをひどく憤らせた日系アメリカ人YouTuberのミキ・デザキを、おそらくご存知ないだろう。ネウヨからの度重なる脅迫にも臆せず、彼らの主張におしろ好奇心を掻き立てられたデザキは、日本人の多くが「もう蒸し返して欲しくない」と感じている慰安婦問題の渦中に自ら飛び込んでいった。

慰安婦たちは「性奴隷」だったのか？「強制連行」は本当にあったのか？なぜ元慰安婦たちの証言はブレるのか？そして、日本政府の謝罪と法的責任とは……？

次々と浮上する疑問を胸にデザキは、櫻井よしこ（ジャーナリスト）、ケント・ギルバート（弁護士／タレント）、渡辺美奈（「女たちの戦争と平和資料館」事務局長）、吉見義明（歴史学者）など、日・米・韓のこの論争の中心人物たちを訪ね回った。さらに、おびただしい量のニュース映像と記事の検証と分析を織り込み、イデオロギー的にも対立する主張の数々を小気味よく反証させ合いながら、精緻かつスタイリッシュに一本のドキュメンタリーに凝縮していく。そうして完成したのが、映画監督ミキ・デザキのこの驚くべきデビュー作、『主戦場』だ。

映画はこれまで信じられてきたいくつかの「物語」にメスを入れ、いまだ燃り続ける論争の裏に隠された“あるカラクリ”を明らかにしていくのだが、それは、本作が必見である理由のごくごく一部に過ぎない。さて、主戦場へようこそ。

柏「キネマ旬報シアター」04-7141-7238で

上映中 7月5日まで 9:35～

7月6日～12日まで15:45～

おおたかの森駅宣伝と署名

8月9日(木)15:30～16:30

カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130-5-464735 口座名 九条の会流山